

# げんき

泉田小学校  
ほげんだよりNO. 4  
2013年4月18日

## 感染性胃腸炎に気をつけよう!

先週あたりから、「吐いた」「おなかがいたい」「気持ちが悪い」「熱が出た」などの胃腸炎の症状で休む子や早退する子が現れはじめ、「**感染性胃腸炎**」の広がりが心配される状況になっています。そのため、以下の予防法や対処法にご留意の上、感染の予防にご協力をお願いいたします。

### しょうじょう 【症状は?】

- ・ノロウイルスの場合、**潜伏期間**は、**通常24~48時間**。
- ・おもな症状は、「**吐き気**」「**吐く**」「**げり**」「**おなかが痛い**」といった胃腸炎の症状。発熱は軽度。中には、うつっても症状が現れない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。
- ・これらの症状は、1~2日続いた後、回復します。

### かんせんけいろ 【感染経路は?】

- ・ほとんどは、汚染したものを食べてしまっとうつります。
- ・**患者の便や嘔吐物**に触れて、二次的にうつることもあります。

症状が治まっても、1週間くらい、便の中にウイルスが混ざっているとされています。

### よぼうほう 【予防法は?】

- 手洗い**: 食事の前やトイレの後は、石けんを十分に泡立てて、指先や手首も洗い、流水でしっかりすすぎます。

ノロウイルスがたくさん含まれている

嘔吐物を素手でさわってはいけません

ウイルスが口から体の中に入ってこないように・・・

### たいしょ しょうち 【対処・処置は?】

- 加熱処理**: カキなどの2枚貝は、中まで**加熱**(85℃、1分以上)します。
- 消毒**: 吐いたもので汚れた時などは、**次亜塩素酸ナトリウム**(市販の家庭用塩素系漂白剤をうすめたもの)で消毒して、二次感染を防ぎます。



### 次亜塩素酸ナトリウムのうすめ液の作り方

●0.02%液⇒ **水1リットル** + **原液 キャップ1杯弱(4ml)**  
→食器や衣類の消毒、ドアノブや手すりなどを拭くとき

●0.1%液⇒ **水1リットル** + **原液 キャップ4杯(20ml)**  
→汚物処理物品(おう吐したものを捨てる時など)の消毒

効き目がなくなるので、**そのつど**作ります!

**ペットボトルのキャップ1杯は5ml**

# ノロウイルスに、<sup>しょうどくよう</sup>消毒用エタノールや<sup>ぎゃくせい</sup>逆性せっけんは<sup>き</sup>効き目がありません

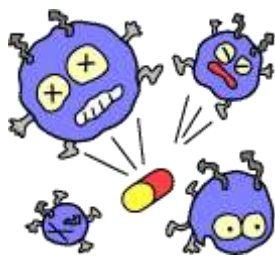
感染性胃腸炎とは、嘔吐・吐き気・下痢・腹痛などの胃腸症状を主とする感染症です。熱も伴うこともあります。そういった嘔吐や下痢を引き起こす感染症の原因はいろいろありますが、大きく分けて、ウイルス性のものと細菌性のものとに分かれます。

細菌性胃腸炎は、O-157やサルモネラ、腸炎ビブリオなどの細菌が原因になり、特に夏場に、食中毒など引き起こします。ウイルス性胃腸炎は、ロタウイルス腸炎に代表されるように冬場に嘔吐や下痢の症状を引き起こしやすいものです

## 1. 感染性胃腸炎ってなに？

ウイルスや細菌の感染が原因になって吐き気や嘔吐、下痢・腹痛などの急性の胃腸炎症状を引き起こす病気です。

## 2. 感染性胃腸炎の原因は？



ウイルスによるものと細菌によるものに分かれます。今回は主にウイルス性胃腸炎についてお話しします。

**ウイルス性**：ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなどで主に冬場に見られます。いわゆる「お腹にくる風邪」です。

**細菌性**：サルモネラ、腸炎ビブリオ、カンピロバクター、病原性大腸菌などがあり主に夏場に見られます。「夏場の食中毒」の原因も多くはこれによるものです。

## 3. 感染性胃腸炎の症状は？

吐き気や嘔吐、下痢・腹痛などの急性胃腸炎症状を呈します。下痢は水様便などで時に血便を呈することもあります。この際特に注意しなければならないのは脱水症状です。下痢や嘔吐による水分喪失に加え、飲水が出来ず、また発熱による不感蒸泄の増加もあり、脱水は要注意です。特に老人や幼児の場合、自覚症状が出にくいこともあり、全身倦怠感の訴えやぐったりした時などは、脱水を考え早目に医療機関を受診することをおすすめします。また感染症の特徴としての発熱が見られることもあります。一般にウイルス性に比べて細菌性のものの方が症状は重篤です。またウイルス性のもものでは上気道炎症状(咳や鼻水)を伴うこともあります。



## 4. ウイルス性胃腸炎の特徴は？

1. ロタウイルス：乳幼児に多く認められ、下痢便が白色になることもあります。
2. ノロウイルス(以前は SRSV: 小型球形ウイルスなどと呼ばれていました)：乳幼児から成人まで幅広く見られます。

3. 腸管アデノウイルス：乳幼児に多く、夏場でも見られることがあります。症状としては比較的軽症の事が多い様です。

## 5. どのように伝染するの？



ロタウイルスは経口感染で、保育園などでの集団感染がみられます。ノロウイルスは食べ物(生カキやホタテ貝などの二枚貝やサラダ、汚染された飲料水など)や調理人の手などを介して感染し、成人でのウイルス性食中毒の原因の大半を占めます。最近では老人介護施設などでの集団発生もたびたび報道されています。ノロウイルス感染症では症状がなくなった後も2週間も糞便中にウイルスを放出し続けるとされ、周囲への感染は要注意です。このため家族も十分手洗いすることを心掛けてください。また細菌性では食品に付着、増殖した細菌により感染するものでヒトからヒトへの感染はウイルスよりも起きにくいとされています。感染してから症状が出るまでの潜伏期間はウイルスで1～3日、カンピロバクターを除く細菌では数時間～十数時間で起きることが多いとされています。